

令和7年度北海道原子力防災総合訓練のポイント

1 訓練日時

令和7年10月29日(水) 8:30~15:30

2 訓練想定

北海道南西沖を震源とする地震が発生し、津波警報が発表される。地震後、北海道電力(株)泊発電所3号機において、設備故障により、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障等により原子炉の冷却が不能となったことにより、原子力災害に至る。

3 参加機関

避難先など23市町村、内閣府、北海道電力(株)、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安本部、北海道開発局、札幌管区气象台、北海道警察、消防機関、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会 など 合計約320機関

注:本資料に掲載の時刻は全て予定であり、訓練当日の天候や進行状況などにより、中止又は前後する場合があります。

1 意思決定訓練

(1) オフサイトセンター運営訓練

■ 防護措置の対応方針の協議と避難状況等の把握

- テレビ会議システムを活用した情報共有・対策協議
 - ・ 原子力緊急事態宣言 [9:30~]
 - ・ 合同対策協議会全体会議 [①9:35~ ②11:00~ ③15:00~]
- スマホIP無線サービスを活用した避難用バスの動態管理(位置情報の把握)
- OFCへの映像伝送による情報収集
 - ・ 道路カメラ(北海道開発局)からの映像伝送 [10:20~]、[11:50~]
 - ・ ヘリコプター(陸上自衛隊)からの映像伝送 [9:00~]
 - ・ ドローンからの映像伝送 [13:20~]、[14:00~]



(2) 災害対策本部等設置運営訓練

■ 複合災害に対応した災害対策本部の運営

- 災害対策本部員会議を開催し、地震や原子力災害に係る被害状況の把握・情報共有、応急対策の検討・調整等を実施
 - ・ 災害対策本部員会議 [①9:45~ ②11:15~]

2 住民避難等訓練

■ バスによる住民避難

- バス集合場所や一時滞在場所の開設・運営、バス避難を実施

【PAZ要配慮者の避難】

泊村	とまり保育所(※1)、泊小学校、泊中学校	[9:15～]	→	アパホテル&リゾート<札幌>
共和町	北辰小学校	[9:20～]	→	ルスツリゾート
	ほくでん体育館	[9:40～]	→	ルスツリゾート

【PAZ一般住民の避難】

泊村	泊村公民館、照岸・糸泊地区集会所	[10:25～]	→	アパホテル&リゾート<札幌>
共和町	ほくでん体育館、リ3会館	[10:25～]	→	ルスツリゾート

【UPZ住民の避難】

神恵内村	神恵内村役場	[10:25～]	→	ガトーキングダムサッポロ
積丹町	積丹町総合文化センター(※2)	[10:55～]	→	(中央水産試験場)※3
古平町	古平町役場	[9:40～]	→	(中央水産試験場)※3
余市町	余市町総合体育館	[10:15～]	→	札幌市東区体育館

※1 とまり保育所はきのこ王国(仁木町)で訓練終了

※2 自衛隊員が運転する民間バス(レンタカー)による住民避難

※3 避難退域時検査場所で訓練終了

■ 住民広報

- ホームページ、X、Yahoo防災アプリ等を活用した多言語による住民広報を実施

※ 関係町村において、防災行政無線や広報車両による広報訓練を実施

- ドローンによる広報訓練

・共働の家(古平町) [13:30]、[14:10]



【DRILL】

Notice to residents living near Tomari Nuclear Power Plant (Xth report)
(November 2, 2024 11:30 AM)

Radiation levels of radioactive materials released in the Tomari Nuclear Power Plant (Tomari NPP) Unit 3 accident have been confirmed to have exceeded acceptable levels in some areas. Everyone living in the affected areas will be required to temporarily relocate within one week. Please follow the instructions of your local government office.



■ 孤立地域が発生した場合を想定した実動組織による救出救助訓練

- ヘリコプターによる避難【北海道警察・陸上自衛隊】

【北海道警察】

出発 珊内防災広場(神恵内村) [13:00]

到着 アップルポート余市(余市町) [13:15]

【陸上自衛隊】

出発 日司地区緑地広場(積丹町) [9:45]

到着 アップルポート余市(余市町) [10:00]



■ 一時滞在場所での旅行代理店によるホテル等確保訓練

- 災害時に町村職員等が一時滞在場所において実施するホテル等の調整・確保業務を、旅行代理店が実施
 - ・ 札幌市東区体育館 [12:30～]

■ 衛星インターネット機器(Starlink)を活用した通信連絡訓練

- 孤立等により、通信が遮断された避難所に衛星インターネット機器(Starlink)を運搬し、現地で設備を展開
 - ・ 余市町総合体育館 [10:00～]

■ 避難経路確保のための道路啓開

- 道路維持事業者が防護服の着用等の防護対策を行った上で、道路啓開を実施
 - ・ 小樽建設管理部余市出張所 [11:00～]

■ 避難経路の緊急迂回誘導訓練(ブラインド型)

- 事前に情報を付与せず避難経路が通行不可となった場合を想定した緊急迂回誘導訓練を実施(ブラインド型で実施) [11:00～]
 - ・ オフサイトセンターでの経路の検討・決定
 - ・ 避難車両への伝達、避難経路上での警察官による迂回路への誘導



■ 要配慮者の避難対策

- 社会福祉施設における要配慮者避難の実施
 - ・ むつみ荘(泊村)→つくし園(黒松内町) [9:15～]
 - ・ 古平町地域福祉センター(古平町)→中央水産試験場(余市町)[13:20～]
※避難退域時検査場所で訓練終了
- 放射線防護施設への要配慮者の屋内退避等
 - ・ 農業開発センター(共和町)→保健福祉センター(共和町) [9:30～]
- 放射線防護施設の損壊を想定した要配慮者の移転
 - ・ みのりの里(共和町)→国富地区防災センター(共和町) [11:35～]
- 放射線防護施設の損壊を想定したエアテントの展開
 - ・ 共働の家(古平町) [10:00～]



■ 外国人の円滑な避難対策

- 原子力災害に関する情報を多言語(英、中、韓、ベトナム)で翻訳し、SNS等で発信
- 避難所へ避難した外国人住民を対象としたオンライン等による相談対応 [10:00～11:20]
災害時外国人支援センター(HIECC) ←→ 避難所(余市町総合体育館)

■ バス運転手の放射線防護対策

- 車両中継ポイントにおける運転手への防護資機材の配付や線量の管理
 - ・ 余市消防署(余市町) [9:00～]

3 原子力災害医療活動訓練

■ 避難退域時検査及び簡易除染

- 避難車両及び避難住民に対する放射性物質付着検査と除染
 - ・ 中央水産試験場(余市町) [10:00～]



■ 安定ヨウ素剤(模擬)の緊急配布

- 住民に対し、安定ヨウ素剤(模擬)の緊急配布を実施
 - ・ 共和町 (戸別配布) [8:35～]
 - ・ 神恵内村(バス車内で配布) [10:00～]
 - ・ 積丹町 (バス車内で配布) [10:30～]
 - ・ 古平町 (バス車内で配布) [9:30～]
 - ・ 余市町 (バス車内で配布) [9:50～]



■ 被ばく傷病者の搬送

- 発電所内で被ばくした傷病者の搬送・受入
 - ・ 岩内協会病院 [10:10～11:00]
 - ・ 北海道大学病院 [13:30～]



4 緊急時環境放射線モニタリング訓練

■ モニタリングカー等による空間放射線の測定

- 測定採取班の出動
 - ・ 可搬型モニタリングポストによる代替測定(余市町) [10:00～]
 - ・ モニタリングカーによる走行測定 [11:00～]



モニタリングカー



可搬型モニタリングポスト設置

5 その他

■ 物資緊急輸送訓練

- 巡視船による物資等輸送
 - ・ 小樽港(小樽市) [11:00～]
 - ・ 古平港(古平町) [～12:00]
- 車両による物資等輸送
 - ・ 古平港(古平町) [12:30～]
 - ・ マリンハウス古平前(古平町) [～12:40]
- ドローンによる物資等輸送
 - ・ マリンハウス古平前(古平町) [13:00～]
 - ・ 共働の家(古平町) [13:05～]

- 放射線防護対策施設に対する物資・燃料供給
 - ・ むつみ荘(泊村) [13:35～]



■ 泊発電所事故拡大防止訓練【北海道電力(株)】

- 可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルを利用し、屋外からスプレイを実施
 - ・ 泊発電所構内 [12:50～]